

大宮公園 桜守ボランティア通信 No.123

発行日：令和5年5月18日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

H P：http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/m14/

第124回桜守ボランティア活動報告

◇日時：令和5年4月23日（日）

◇天候：曇り ◇参加人数：14名

◇内容：コスカシバフェロモン剤設置

大宮公園では、サクラの害虫コスカシバの被害が多く見られるため、コスカシバフェロモン剤を毎年4月に設置しています。コスカシバは5～10月に樹木の傷などに産卵し、孵化した幼虫は樹皮の下の形成層を食い荒らします。フェロモン剤は、化学的に性フェロモンを合成したもので、コスカシバの交尾を阻害し、幼虫の発生を抑えます。

今回は全部で105本のサクラに約850本のフェロモン剤を設置することができました。参加者の皆様、ありがとうございました。



↑コスカシバ成虫（※1） ↑コスカシバ幼虫



↑フェロモン剤



↑今年も食害痕（ヤニ）が確認されました



↑サクラの幹にシュロ縄を巻いてフェロモン剤を結束しました



↑参加者の皆さん。お疲れ様でした！

第125回桜守ボランティア活動のお知らせ

◆日時：令和5年6月4日（日）9:30～12:00（雨天時予備日：令和5年6月11日（日））

◆集合：大宮公園事務所2階

◆内容：ひこばえ取り

◆参加費：無料

◆持ち物：汚れても良い作業しやすい服装・軍手・帽子、飲み物など。

◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。

MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp / TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

◇次回世話人会：令和5年6月4日（日）12:00～12:30

◇内容：活動の反省、次回活動の打合せ ※欠席される方は、事前連絡をお願いします。

STOP！クビアカツヤカミキリ

今、もともと日本にいなかった外来のクビアカツヤカミキリが、日本のあちこちでサクラやモモ、ウメを食い荒らしています。2011年に初めて埼玉県内の深谷市で確認され、2013年に県南東部の葛西用水で被害が確認、2017年には県南東部の越谷市、県北部の羽生市、行田市、熊谷市、深谷市および加須市と被害が急激に広がりました。

埼玉県では、2018年から県民参加による「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を開始しています。

新しい場所にこの虫が入ってしまったら、増えてしまう前に見つけないと大変なことになります。フラス（木くず）や成虫を見つけたら、市町村や管理者、埼玉県環境科学国際センター（g7383316@pref.saitama.lg.jp, 0480-73-8361）までお知らせください。



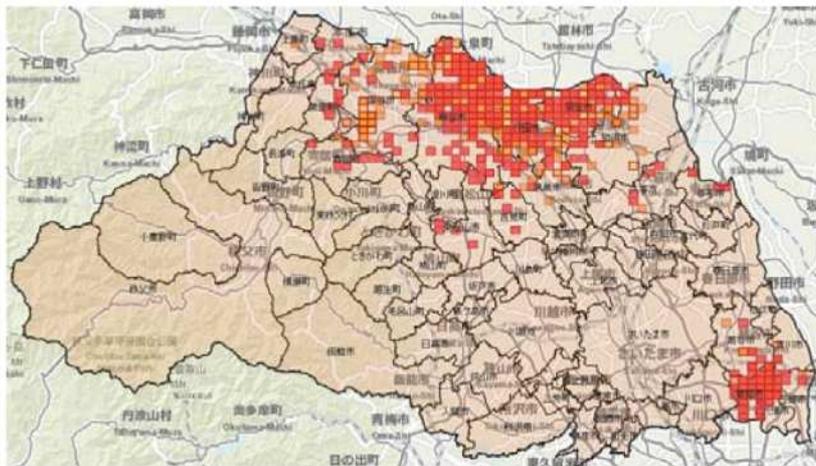
←埼玉県環境科学国際センター 宛
フラスや成虫を見かけたら、写真を
撮って送ってください。



クビアカツヤカミキリ（成虫）、6～7月に木の外に出てくる。成虫は見つけたらすぐに捕殺します。生きている虫は、持ち歩かないでください。



明るいオレンジ色でひき肉のように木くずが連なって出ていたら、中に幼虫がいます。木くずを取り除き、農薬を注入するなどして駆除しますが、成虫となって拡散するのを防ぐため、見つけたら、すぐに市町村や管理者にご連絡ください。



埼玉県内の2021年度までの被害発生地域



参考資料：サクラの外来害虫“クビアカツヤカミキリ”被害防止の手引、埼玉県環境科学国際センター

もうひろげない！クビアカツヤカミキリ. *クビアカツヤカミキリ* ソーシム（代表：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）